

## 平成30年度「前期選抜」、「後期選抜」についての主な意見等について

(中)：中学校の意見 (高)：高等学校の意見

	意見等	対応
平成31年度の入学者選抜で改善するもの	(中) 1教科50分の検査を1日5教科課すのは、受検者に負担である。	※平成33年度入学者選抜から、「本検査」(5教科を2日間に分けて実施)及び本検査に準じた「追検査」(1日間)を実施することとなった。(平成30年3月20日「県立高等学校入学者選抜の改善方針について」報道発表)
	(中)(高) 5教科(学力検査)を2日間に分けて実施してほしい。	
	(中)(高) 前期選抜と後期選抜を一本化してほしい。	
入学者選抜制度等に係るもの(上記以外)	(中) 入学確約書の提出期間を短くして、後期選抜出願までに進路指導の時間がほしい。	○平成31年度入試においては、入学確約書の提出期間が半日短くなり、2日間となった。
	(高) 入学確約書の提出期間は2日間でよい。	
	(中)(高) 入学確約書の記載日付について、混乱があった。	
入学者選抜制度等に係るもの(上記以外)	(中) 後期選抜の出願日を二日間にしてほしい。	○各中学校、高等学校から出された意見をまとめたものを、毎年千葉県公立高等学校入学者選抜方法等改善協議会に報告し、協議の資料としています。同協議会の意見を踏まえながら、今後の入学者選抜制度がより良いものとなるよう、検討していきます。
	(中) 調査書の特記事項の記載内容や字数に条件を定めてほしい。	
	(高) 荒天等により、日程が延期されることを想定した案を事前にいくつか示してほしい。また、日程変更の連絡を、できる限り早めに連絡してほしい。	
	(高) 解答用紙が厚すぎて扱いにくい。	
	(中)(高) 休み明けの検査日はやめてほしい。	
(中)(高) 入学確約書の提出をなくすシステムをお願いしたい。		
その他	(中) 選抜・評価方法が一部、分かりにくい学校があった。	○各高等学校の選抜・評価方法については、各学校が定めるものとなっています。公正・公平で透明性の確保された選抜の実施に向け、志願者に一層わかりやすい表現となるよう、高等学校に引き続き働きかけていきます。
	(中) 出願時に志願者が長時間待たされた学校があった。	○各地区の実施要項説明会で、高等学校に対して、ミスを起こさないよう慎重に受付事務を行いつつ、志願者に配慮して、迅速に事務手続が進むよう、効率的な受付事務体制の整備をお願いしました。併せて、中学校に対しても、午前と午後に分散して志願者に出願させるなどの御協力をお願いしました。